

樹脂製ハニカムフロア テクセル床工法

株式会社新井組

〒662-8502 兵庫県西宮市池田町12-20

TEL 0798-26-3111 FAX 0798-33-6111

URL https://www.araigumi.co.jp

mail ホームページより問い合わせ

【問い合わせ先】事業開発部 (TEL 0798-26-8163)

【拠点】東京支店 (TEL 03-6275-3327)、名古屋支店 (TEL 052-211-8849)



新設施工事例
表層シート+テクセル床工法



新設施工事例
フローリング+テクセル床工法



増し張りフロア

概要

体育館や屋内スポーツ施設の多くは、床下地コンクリートの上に木製や鋼製の支柱・根太・大引きを組んだ上に、木板やフローリング、シート材を積層した二重床工法を採用している。この工法では床下空間を設定して配線配管や通気を確保するメリットがあるが、踏む位置によって床組の構成が異なることにより反発性や踏み心地に大きなバラツキがある。

テクセル床工法は、床下地コンクリートと表層仕上げ材の間に「TECCCELL (テクセル)」パネルを挟み込む直床形式の工法で、反発性能を持ったまま、衝撃吸収性を持たせる積層床工法である。また、より大きな緩衝性を求められるスポーツ競技向けには、さらに弾力層を設けることでジャンプ着地による膝への負担を軽減させる。

本工法は、「TECCCELL」と弾力層の厚みや密度を変えることにより反発性・緩衝性・弾力性をコントロールすることができ、下階伝播音も低減できることから中間階でも運動室を設けられるため、多様なスポーツ競技から機能訓練などのリハビリ室などにも適用できる。また、軽くて施工方法がシンプルなため、既存フローリングの上からテクセル床を改修・設置する「増し張りフロア」も新しく開発した。

特長

1. 高性能・高耐久

下地材の「TECCCELL」パネルは熱可塑性樹脂素材のハニカムコア（六角形セルの集合体）両面を薄膜シートで挟み込んだ中空板サンドイッチパネルであり、同じ曲げ強度を有する他の素材と比べて圧倒的に軽量でありながら、高剛性で高耐久な優れた素材である。

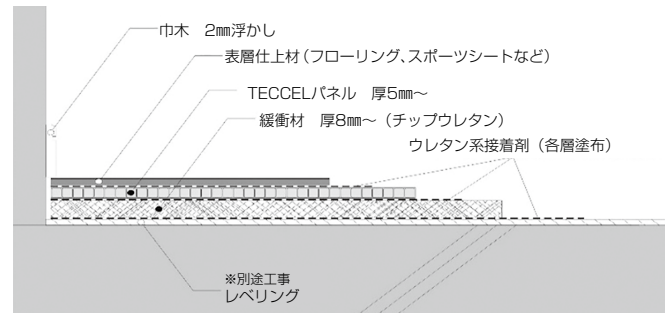
2. 省資源・省力化

在来二重床と比べて構成部材数と施工工数を大幅に削減して「省資源」「省力化」「短工期」「低コスト」で床工事が可能である。また、木材を使用しないことで環境にも配慮した工法である。

3. シンプルデザイン

直床形式で床下空間が不要なため下地コンクリートに段差

を設けず、「硬さ」「やわらかさ」「温かさ」「静けさ」など意図した均一な特性の床をデザインできる。



テクセル床工法標準断面

●代表的な床の性能 (参考)

表層材ごとの緩衝性に関する値

※弾力層あり	フローリングタイプ	スポーツシートタイプ
緩衝効果値(U値)	20.3~34.3	37.7~37.8
床の硬さ(G値)	57~69	53~57

※JIS A 6519「体育館用鋼製床下地構成材」による

- ・ボール反発性能 (EN12235を参考にした簡易試験) 92~98% (コンクリート素面を100%とした場合の値)

●増し張りフロア

テクセル床工法増し張りフロアは、既存の二重床フローリングの上から新たにテクセル床を「増し張り」することで、ただ新規フローリングを追加増し張りする改修工法に比べて、より弾力性を付加できる床改修工法である。研磨不可能となった古いフローリングでも撤去・新設せず採用でき、経済的で廃材のない工法として今後の採用が期待される。

